

『災害時医療支援船構想』 訓練航海
《 和歌山訓練航海 》

和歌山訓練：平成19年12月15日（土）・16日（日）



支援船

神戸大学海事科学部附属練習船「深江丸」

- 450総トン（全長49.95m）
- 速力13.0knots【時速25km/h】
- 定員62名

和歌山訓練(2007.12.15-16)

和歌山県の透析医療関係者と連携しながら、神戸大学海事科学部附属練習船「深江丸」を使用して、和歌山港から加太瀬戸経由、泉佐野港までの経路に於いて患者搬送訓練を実施した。参加者は患者6名、医療スタッフ19名、行政関係者（和歌山県、大阪府）3名を含む合計39名が乗船した。

■スケジュール

時間	患者グループ	深江丸
15日		
午前10時	神戸乗組スタッフ集合	スタッフ集合
午前10時10分		神戸港に発 GPS携帯マッピング調査
午後2時		和歌山港着
16日		
午前9時30分	JR和歌山駅前東口(紀伊国屋前)に集合 バスで移動	
午前10時	和歌山港にて乗組	患者グループ乗組
午前10時10分		和歌山港出発 患者グループ乗組航海 GPS携帯マッピング調査 船隻情報確認調査
午後1時	意見交換会（若平港船内にて）	泉佐野港入港
午後2時10分	泉佐野港にて下船	患者グループ下船
午後2時15分	バスにて南和歌山港へ移動、希望者下船	泉佐野港出発
午後3時	日越港船内にて解散	GPS携帯マッピング調査
午後4時		神戸港に寄
午後4時30分		解散



和歌山港係留中の深江丸



船内診療

